【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公表番号】特表2018-502559(P2018-502559A)
【公表日】平成30年2月1日(2018.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-004
【出願番号】特願2017-526896(P2017-526896)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/68　(2018.01)
Ａ２３Ｌ　33/20　(2016.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/53　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｑ　 1/68　Ａ
Ａ２３Ｌ　33/20
Ｇ０１Ｎ　33/50　Ｐ
Ｇ０１Ｎ　33/53　Ｍ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和1年12月23日(2019.12.23)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１つ以上の食事介入後の減量の維持について被検者の体質を評価する方法であって、
（ｉ）配列番号１の第１０１番目の位置（ｒｓ９５３２１１）
（ｉｉ）配列番号２の第１０１番目の位置（ｒｓ１５０９２９０）
（ｉｉｉ）配列番号３の第１０１番目の位置（ｒｓ１５０９２８９）から選択される１つ以上の多型位置について前記被検者のヌクレオチドを決定することを含み、
配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在、及び／又は配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在、及び／又は配列番号３の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在を決定することを含む、方法。
【請求項２】
請求項１に記載の１つ以上の食事介入を適用することによる減量維持について被検者の体質を評価する方法であって、配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在を決定することを含み、前記減量が、体格指数（ＢＭＩ）、体脂肪量、腰周囲、又は腹囲における変化により表される、方法。
【請求項３】
請求項１に記載の１つ以上の食事介入を適用することによる減量維持について被検者の体質を評価する方法であって、配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在を決定することを含み、前記減量が、ＢＭＩ、除脂肪体重、腰周囲、又は腹囲における変化により表される、方法。
【請求項４】
請求項１に記載の１つ以上の食事介入を適用することによる減量維持について被検者の

体質を評価する方法であって、配列番号３の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在を決定することを含み、前記減量が、ＢＭＩ、体脂肪量、除脂肪体重、腰周囲、又は腹囲における変化により表される、方法。
【請求項５】
請求項１に記載の１つ以上の食事介入を適用することによる減量維持について被検者の体質を評価する方法であって、配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在、及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ若しくはＧの存在を決定することを含む、方法。
【請求項６】
前記減量が、ＢＭＩ、体脂肪量、除脂肪体重、腰周囲、又は腹囲により表される、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
配列番号１の第１０１番目の位置にＧを含み、かつ配列番号２の第１０１番目の位置にＡを含む遺伝子型の存在を決定することを含み、前記遺伝子型の存在が、被検者が、食事介入後に減量を維持する体質を有することを示す、請求項５又は６に記載の方法。
【請求項８】
（ｉ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＧ／Ｇ（ホモ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ／Ａ（ホモ接合）；
（ｉｉ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＧ／Ｇ（ホモ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＧ／Ａ（ヘテロ接合）；
（ｉｉｉ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＧ／Ａ（ヘテロ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＧ／Ａ（ヘテロ接合）；並びに
（ｉｖ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＧ／Ａ（ヘテロ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ／Ａ（ホモ接合）；から選択される遺伝型の存在を決定すること、を含み、
前記遺伝型の存在が、被検者が、食事介入後に減量を維持する体質を有することを示す、請求項５～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
（ｉ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ／Ａ（ホモ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ／Ａ（ホモ接合）；
（ｉｉ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ／Ａ（ホモ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＡ／Ｇ（ヘテロ接合）；
（ｉｉｉ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ／Ａ（ホモ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＧ／Ｇ（ホモ接合）；
（ｉｖ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＡ／Ｇ（ヘテロ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＧ／Ｇ（ホモ接合）；並びに
（ｖ）配列番号１の第１０１番目の位置におけるＧ／Ｇ（ホモ接合）及び配列番号２の第１０１番目の位置におけるＧ／Ｇ（ホモ接合）；から選択される遺伝型の存在を決定すること、を含み、
前記遺伝型の存在が、被検者が、食事介入後に減量を維持しない体質を有することを示す、請求項５又は６に記載の方法。
【請求項１０】
前記減量が、ＢＭＩにおける変化により表される、請求項６～９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
前記１つ以上の多型位置について前記被検者のヌクレオチドを決定することが、ＦＡＴ４遺伝子の位置を決定することにより行われる、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
前記食事介入が、低カロリー食である、請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法。

【請求項１３】
前記低カロリー食が、６００～１２００ｋｃａｌ／日のカロリー摂取量を含む、請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記低カロリー食が、６～１２週間の継続期間を有する、請求項１２又は１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記１つ以上の多型部分における前記ヌクレオチドを決定することと、前記被検者の１つ以上の身体測定及び／又は生活習慣特性とを組み合わせることを更に含む、請求項１～１４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１６】
前記身体測定が、性別、体重、身長、年齢、及び体格指数からなる群から選択され、前記生活習慣特性が、前記被検者が喫煙者であるか又は非喫煙者であるかである、請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
被検者に対する１つ以上の食事介入を最適化する方法であって、
請求項１～１６のいずれか一項に記載の方法により、１つ以上の食事介入後の減量維持について被検者の体質を評価することと、
１つ以上の食事介入を前記被検者に適用することと、を含む、方法。